

2. 大学・研究開発法人を国際的なイノベーションハブとして強化

目指すべき姿

世界トップレベルの大学等と競争する十分なポテンシャルを持つ大学・研究開発法人が、国際的なイノベーション創出拠点となるよう、研究環境を革新し、海外で活躍する日本人を含む世界トップレベルの研究者等に対する求心力を高める。

《例》

研究大学強化促進事業(文科省)

- ☑ 大学の研究マネジメント人材群の確保や集中的な研究環境改革等の研究力強化の取組を支援
- ☑ 選定ヒアリングの際に、競争的資金等の獲得状況や国際的な研究成果(質の高い論文)創出の状況など定量的な指標に基づくなど、新たな選定方法を取り入れている点を高く評価。
- ☑ ただし、支援終了時において大学群へ期待する水準(マネジメント改革含む)とともに、本事業が我が国の大学等全体における研究力向上にもたらすと期待される具体的効果を明確化する必要があることを指摘・助言。

研究開発法人に関する新たな制度の創設・運用改善(内閣府&内閣官房&文科省)

- ☑ グローバル競争環境下で研究開発法人が優位性を発揮すべく新たな制度の創設・運用改善
- ☑ 実態を把握し、独立行政法人全体の制度・組織の見直しを踏まえつつ、関係省庁が連携して早急に対応することを確認。
- ☑ CSTPとして、研究開発の特性等を十分に踏まえた世界最高水準の新たな制度の創設・運用改善の早急な実現を目指し、積極的に対応。

3. 競争的資金制度の再構築

目指すべき姿

イノベーションの源泉となる研究を行うための競争的資金を受け取った研究者が研究活動に専念でき、研究開発の進展に応じ、基礎から応用・実用段階に至るまでシームレスに研究を展開できるよう、競争的資金制度の再構築を行うとともに、過去の概念を覆すようなイノベーションの種となるハイリスク、ハイインパクトな研究を誘導する。

《例》

科学研究費助成事業(文科省)

- ☑ 科学研究費助成事業のあるべき姿に向けた制度の改革・改善
- ☑ 基礎研究を支える我が国最大規模の中核的な競争的資金であり、早急に取り組むべき必要があることを確認。
- ☑ 研究上の不正行為防止のために、研究者倫理教育も同時に議論され、各研究機関における一定の教育プログラムの履修を科研費の支給条件とするなどといった検討が進むことを期待。

競争的資金の使い勝手の改善(内閣府&関係府省)

- ☑ 競争的資金制度の運用面での整合性や使い勝手の改善
- ☑ CSTPとして、競争的資金制度を所管する関係府省と連携しつつ、基礎から応用まで切れ目ない資金提供ができるような制度の在り方について検討していく重要性を確認。
- ☑ 研究者が徒らに手続に時間をとられることなく、できる限り研究に専念することができることは、研究力向上の大きな要因であることを踏まえれば、競争的資金の使い勝手の改善は必須の取組であり、関係府省での検討を進め、早急に結論を得る必要がある。

4. 産学官の連携・府省間の連携の強化

目指すべき姿

産学官が、それぞれの役割を踏まえた上で、連携を強化し、日本全体のイノベーションシステムを円滑に機能させる産学官連携・府省連携を抜本的に強化する。

《例》

センター・オブ・イノベーション(COI)プログラム(文科省)

- ☑ 産学が一つ屋根の下で、10年後を見据えたビジョンからバックキャスト的に革新的な研究開発に取り組む拠点の整備
- ☑ これまでの社会システムを大きく変革する革新的な研究開発成果が実用化に至るまで持続的に創出されることを期待。
- ☑ 実際に成果を上げていくために、しっかりとした実施体制を持って臨み、各拠点における進捗状況等を継続的かつ綿密にモニタリングしていくことが必要である旨を指摘・助言。

産学連携評価モデル・拠点モデル実証事業(経産省)

- ☑ 「産学連携評価指標」を実際に各大学に適用し、産学連携の「質」の向上を図る
- ☑ 新しい評価指標は産学連携の「質」に念頭をおいた評価指標の幅広い適用を狙ったものであり、各大学がそれぞれの特徴特色を活かした産学連携の取組を評価できることを期待。
- ☑ CSTPとして、こうした指標を単なる「調査結果」で終えることなく、その結果を活かした各大学の特徴ある取り組みへとつなげ、民間から大学への更なる資金の流れを生み出すような新しい仕組み作りの重要性について指摘・助言。